



R
E
V
E
N
P
O
R
T
!



ミラノサローネ2015 ＜照明デザインコンペティション 受賞作品展＞

「和食を楽しむ空間にあう照明器具」のコンセプトに基づき開かれた
照明デザインコンペティションの受賞作品展がミラノにて開催！

期 間：2015年4月14日～19日
会 場：ギャルド・イタリー1Fショールーム

NPO 法人青山デザインフォーラムは、2014年に続き2015年もイタリアミラノにて年に一度開催される国際家具見本市「ミラノサローネ」に会場設営をする事を決定し、「和食を楽しむ空間にあう照明器具」のコンセプトに基づいたコンペティションを開催いたしました。

厳正な審査を行いました結果、1作品が最優秀賞、2作品が優秀賞に選定され、2015年04月14日～19日ミラノサローネ開催期間に合わせてミラノ会場にて展示されました。

最優秀作に選ばれました「中村ちひろ-月灯り」と優秀賞作の「川田敏之-月見、花見」「三浦慎也-Lotus Light」の展示風景や各受賞者によるコメントをご紹介します。



沢山のお客さんにご来場いただきました！



「和食を楽しむ空間にあう照明器具」3点の受賞作品

照明デザインコンペティション 受賞者による感想の一言！



この度は青山デザインフォーラム ミラノサローネ2015出品作品照明デザインコンペティションに最優秀賞を頂きまして、ありがとうございます。またギャルド・イタリー 1Fショールームのミラノサローネ参加という機会を戴き貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。ものを作り表現をする立場にある者にとって受賞ということは何ものにも代え難い讃辞だと思いますし、さらなる創作意欲を湧かせてくれるものです。

今回作品は、カタチとしてのデザインを見せるというよりも、日本人の自然観や美意識を表現することで日本の文化を伝えたいという想いで月を題材に制作しました。日本では月を観賞することを『月を愛でる』という言葉で表現をします。これは私たち日本人が、ゆっくりと満ち欠けを繰り返す月の姿を美しいと感じ、その不思議な魅力に心を動かされ特別な想いを寄せてきたことを窺わせます。

『月灯り』は見る角度によって月の表情が変化する照明です。これは見る側が自然現象に意識的に関わり体感することで自然の中に在り、自然と調和するこの国の文化を感じていただけるものです。

デザイナーとして表現者として日本のすばらしい文化が真の姿でより広く世界に発信されることを願い、これからも日本の歴史と伝統に敬意払いながら革新性をもって新しい伝統を作っていきたいと思います。

【 月灯り ・ 中村ちひろ 】

優秀賞に選んでいただき、ありがとうございます。昨年の家具デザインコンペにつづいての受賞でとても励まされました。さらにいいもの・人の胸の奥までひびくものを作っていこうという思いをあらたにしています。

【 Lotus Light ・ 三浦慎也 】



この度は賞を頂き、またミラノサローネでの展示の機会を頂き有り難うございました。

中々海外で作品を発表する機会がない中で、大変貴重な経験をさせて頂きました。実際に現地を訪れ、日本の文化がどの程度海外の方々に受け入れられるのか、少なからず伺い知ることができ、モノのデザインだけでなく、見せ方や伝え方の重要性も強く感じました。

【 月見、花見 ・ 川田敏之 】

